

令和 4 年 6 月 21 日現在

機関番号：32621

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2017～2021

課題番号：17K02070

研究課題名(和文) 湾岸諸国における女性の消費と起業行為に関するジェンダー研究

研究課題名(英文) A Gender Study on Gulf Women's Consumption and Entrepreneurship

研究代表者

辻上 奈美江 (TSUJIGAMI, Namie)

上智大学・総合グローバル学部・教授

研究者番号：30584031

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,300,000円

研究成果の概要(和文)：天然資源収入を経済基盤として発展してきた湾岸アラブ諸国は、高度な消費社会としての側面も有する。またジェンダー平等よりは男女の性別役割を重視するイスラームの価値観もあり、女性は生産よりも消費と結びつけられてきた。本研究は、女性の消費行動に着目すると同時に、女性消費者を対象とした女性起業家の商業活動の展開に着目し、消費と起業が家庭内のジェンダー関係にもたらす影響について解明しようとするものである。本研究期間を通じて、女性の教育レベルと消費の関係、および女性の家計への貢献がジェンダー関係に及ぼす影響を、文献資料および現地調査から明らかにした。

研究成果の学術的意義や社会的意義

世界的にジェンダー平等志向が強まる現在において、女性の教育レベルや経済的自立、政治参加の向上・促進は注目を集めているが、消費とジェンダーの関係は十分に解明されてこなかった。本研究は、男女の性別役割分業が比較的明確な湾岸アラブ諸国において、女性による消費が、女性による起業を誘発しているとの仮説のもと、消費と起業の関係を、教育、家計、ジェンダー関係など複数の観点から検討した。研究期間を通じて、家父長制の犠牲者として見なされがちな女性が、家父長制を活用しながらもビジネスによって得た収入を通じて家庭内でのジェンダー関係の交渉を試みていることを明らかにした。

研究成果の概要(英文)：The Arab Gulf states have developed into consumer-based societies based on the wealth extracted through natural resources. Women in the region have long been considered to play their roles in consumption rather than production. However, with the socioeconomic transformation, women can no longer enjoy consumption only, and they start to engage in businesses catering to female consumers. This study explored the relationship among educational levels achieved by women, women's influence on household, as well as their gendered relationship within the family based on primary and secondary data.

研究分野：中東地域の比較ジェンダー論

キーワード：ジェンダー 消費 起業 中東 家計 湾岸アラブ諸国

1. 研究開始当初の背景

労働は、教育や政治参加と並んで女性のエンパワーメントを計測するための重要な指標と見なされてきた。そのため、従来のジェンダー学は女性の労働に重点を置く傾向があった。このような価値観は「ジェンダーと開発」とそれに続く「ジェンダー主流化」といった国際支援の現場でも受け入れられ、女性が現金収入を獲得できるようになることが目指された。世界経済フォーラムや国連開発計画の人間開発報告書のジェンダー不平等指数においても、この価値観は踏襲され、女性が開発の過程で現金収入を獲得し、経済的に自立することは、ジェンダー平等社会のメルクマールとして位置付けられている。

たしかに就労とその結果として得られる現金収入は女性の経済的自立の必要条件となる。だが、女性の就労と経済的自立を直結させる上記のような学界・国際機関および開発現場における価値観は、女性に決定権があるという男女平等の前提に基づいており、世界中どこでも普遍的に通用するとは限らない。にもかかわらず、これまで女性が現金を処分する権利を有するかどうかについては十分に議論されてこなかった。

女性がいかなる動機で就労し、またその労働によって得た金銭がどのように支出されるかによって、労働のインプリケーションはかなり異なる。湾岸アラブ諸国の事例では、家事労働者など労働法の適用外の労働者の労働環境や、彼女らに課せられた海外送金の責任などがそれにあたる。

このような状況に鑑み、本研究では消費の観点からジェンダー関係を読み直すこと、さらには再生産領域に位置付けられる消費が、実際には生産領域に影響を与えているのではないかと仮定に基づいて研究を開始するに至った。

2. 研究の目的

本研究は、消費主義社会と化した湾岸アラブ諸国の女性の消費行動と、女性を対象とした商業活動の展開および女性の家計への経済的貢献を調べることでジェンダーの権力関係を明らかにしようとするものである。湾岸諸国では近年、女性の教育レベルと労働参加率の向上と連動して、女性が消費者として存在感を高めている。本研究を通じて男性が家族の扶養義務を負う、男性優位のイスラーム的価値観の解釈・実践の変化、および消費主義化を促進する国家の役割も同時に明らかにする。

3. 研究の方法

本研究では、(1) 湾岸諸国では宗教的価値観のために女性が生計負担を負う習慣がないことが、女性を一層消費者として成長させた、(2) 女性が重要な消費者となったことで女性起業家の活躍の場ができ、女性の生産領域への参入が促進された、その結果(3) 男性による家族の扶養を表向きの優位性として保持しつつ、実際には女性が消費市場を席卷している、との仮説をたてた。これらを検証するために、消費とジェンダーに関する理論的分析枠組みの文献調査、現地調査による女性の消費行動調査、女性によるビジネスと女性のためのビジネス展開に関する調査を行った。

4 . 研究成果

2019 年 12 月に実施した現地調査を通じて、複数の分野の女性起業家に面会することができた。これらの女性起業家は、主に女性を対象としたビジネスを展開していることが明らかになったが、同時に、必ずしも女性の消費者を対象としない分野にも進出していることが明らかになった。

本研究期間中に新型コロナウイルス感染が拡大し、現地調査の実施が著しく難しくなった。このため、女性の家計への貢献や所得と支出の関係については二次資料に頼らざるを得ない状況となったものの、文献資料から女性の教育レベル、就労が消費・支出に与える影響を明らかにすることができた。また、これらの資料から、特に若い女性は必ずしも家計を支える義務を想定しておらず、このため就労女性は自らの収入を生活費よりは嗜好品の消費や投資に充てていることも明らかになった。

これらをもとに、Tsujigami(2021)では、Kandiyoti(1988)が展開した「家父長制内の交渉」の議論を援用しながら、女性たちが必ずしも家父長制の打倒を目指しているわけではないこと、むしろ家父長制の枠内で戦略的に家計の消費・支出に影響力を及ぼしていることを指摘した。Kandiyoti(1988)は、貨幣経済が浸透した 20 世紀における中東地域の女性たちが家庭外で働くことを回避し、むしろ扶養される権利を享受する家父長制を選好したとの議論を展開している。これに対して Tsujigami(2021)では、貨幣が必要とされることが大前提となる消費社会において、女性たちは扶養される権利を追求できる場合にはその権利享受しながらも、他方では収入を獲得することにも意欲的であることを指摘した。それは、貨幣経済においては、消費・支出の決定権を持つことが権力関係に重要な意味と意義を有するからであると論じた。

Kandiyoti, Deniz. 1988. "Bargaining with Patriarchy." *Gender and Society*, vol. 2, No. 3 (September). pp. 274-290.

Tsujigami, Namie 2021 "Institutionalisation of Female Entrepreneurship and Consumption in Sex-Segregated Riyadh", Kondo, Yohei ed., *The Arabian Peninsula: History, Culture, and Society* (近藤洋平編著『アラビア半島の歴史・文化・社会』), Tokyo: University of Tokyo, pp. 3-20.

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計16件（うち査読付論文 0件 / うち国際共著 1件 / うちオープンアクセス 11件）

1. 著者名 Tsujiigami, Namie	4. 巻 なし
2. 論文標題 Institutionalisation of Female Entrepreneurship and Consumption in Sex-Segregated Riyadh	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 アラビア半島の歴史・文化・社会	6. 最初と最後の頁 3-20
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 辻上奈美江	4. 巻 45(1)
2. 論文標題 喫茶が紡ぐ豊かな時間 サウジ人女性の事例から	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 中東協力センターニュース	6. 最初と最後の頁 24-28
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 辻上奈美江	4. 巻 44-6
2. 論文標題 ノルウェーにおけるアラブ系難民女性の定住過程と生計活動	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 中東協力センターニュース	6. 最初と最後の頁 9-25
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 辻上奈美江	4. 巻 23
2. 論文標題 美容 同性を意識した自分磨き	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 フィールドプラス	6. 最初と最後の頁 18-19
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 辻上奈美江	4. 巻 43-2
2. 論文標題 「生活の質向上プログラム」が示す「公共圏」拡大の兆しと社会的アクターとしての女性	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 中東協力センターニュース	6. 最初と最後の頁 14-22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 辻上奈美江	4. 巻 33(25)
2. 論文標題 女子力解放! サウジのファッション革命から見える国の明暗は	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ニューズウィーク日本版	6. 最初と最後の頁 31-34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 辻上奈美江	4. 巻 43-9
2. 論文標題 サウジアラビアにおける女性の運転解禁: 女性たちはハンドルを握るのか	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 中東協力センターニュース	6. 最初と最後の頁 10-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 辻上奈美江	4. 巻 534
2. 論文標題 ムハンマド皇太子の「改革」とジェンダー - - 後期レンティア国家における「管理された解放路線」のゆくえ	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 中東研究	6. 最初と最後の頁 45-56
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 辻上奈美江	4. 巻 43-11
2. 論文標題 サウジアラビアにおける政治エリート変容の兆し	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 中東協力センターニュース	6. 最初と最後の頁 19-25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 辻上奈美江	4. 巻 43-12
2. 論文標題 ノルウェーにおけるアラブ人庇護申請女性らの戦略	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 中東協力センターニュース	6. 最初と最後の頁 18-25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 辻上奈美江	4. 巻 2018_2_40_007
2. 論文標題 サウジ人女性の起業を喚起する消費と労働市場	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 中東ファミリービジネスの構造と継承の課題	6. 最初と最後の頁 54- 62
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 辻上奈美江	4. 巻 42-1
2. 論文標題 サウジ国王訪日と日本に期待されるソフトバリュー	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 中東協力センターニュース	6. 最初と最後の頁 21-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 辻上奈美江	4. 巻 42-4
2. 論文標題 サウジアラビア王位継承の新たな展開：三層構造の王朝君主制	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 中東協力センターニュース	6. 最初と最後の頁 23-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 辻上奈美江	4. 巻 46
2. 論文標題 サウジアラビア『汚職摘発』の波紋	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 外交	6. 最初と最後の頁 130-135
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 辻上奈美江	4. 巻 42-8
2. 論文標題 サウジアラビアの自動車運転解禁：女性運転手参入による変化と展望	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 中東協力センターニュース	6. 最初と最後の頁 26-33
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 辻上奈美江	4. 巻 82-3
2. 論文標題 『アフガン・ガール』をめぐる眼差しの暴力—主体・表象・交差性	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 文化人類学	6. 最初と最後の頁 385-393
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

〔学会発表〕 計8件（うち招待講演 5件 / うち国際学会 2件）

1. 発表者名 辻上奈美江
2. 発表標題 女性の消費と起業実践からみる『イスラーム』と風紀
3. 学会等名 日本イスラーム協会公開講演会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 辻上奈美江
2. 発表標題 サウジアラビア 国家の理念と現実
3. 学会等名 上智大学プロフェッショナル・スタディーズ「イスラームの政治原理と経済原理：イスラーム諸国の類型的理解」（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 辻上奈美江
2. 発表標題 モール・ムタウウィウ・国家：サウジアラビアと消費主義
3. 学会等名 東京大学中東地域研究センター公開セミナー「湾岸諸国の歴史・文化・社会」第一回，2019年5月25日（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 辻上奈美江
2. 発表標題 眼差しの暴力：アラブ女性と難民の事例から
3. 学会等名 高知県立大学文化学部国際日本学レクチャーシリーズ第56号，2019年10月25日（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 辻上奈美江
2. 発表標題 難民女性を生きる
3. 学会等名 青山学院大学映画上映会「シリアのプリンセスたち」プレトーク, 2019年11月30日(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Namiie Tsujigami
2. 発表標題 Gulf Women as Emerging New Social Actors
3. 学会等名 8th Conference on Ibadī Studies (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Namiie Tsujigami
2. 発表標題 Saudi Women as Emerging New Social Actors: Consumption and Business Opportunities in Sex-Segregated Riyadh (代読)
3. 学会等名 Middle East Studies Association (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Namiie Tsujigami
2. 発表標題 Gendered Refugees: A Case of Syrian Refugee Women's Theatre Play (代読)
3. 学会等名 The Global Refugee Crisis: Mobile People under State Protection or Exploitation
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計6件

1. 著者名 Rita Stephan and Mounira M. Charrad eds., Tsujigami, Namie, et. al.	4. 発行年 2020年
2. 出版社 New York University	5. 総ページ数 406
3. 書名 "Driving Campaigns: Saudi Women Negotiating Power in the Public Space" (pp. 339-347) In Women Rising in and beyond the Arab Spring	
1. 著者名 田中 雅一、嶺崎 寛子編著 辻上奈美江他著	4. 発行年 2021年
2. 出版社 昭和堂	5. 総ページ数 448
3. 書名 「揺らぐ家長制 ノルウェーのアラブ系難民女性の定住過程」(pp. 375-396) 『ジェンダー暴力の文化人類学』	
1. 著者名 高尾 賢一郎、後藤 絵美、小柳 敦史編著 辻上奈美江他著	4. 発行年 2021年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 370
3. 書名 「サウジアラビアの社会変革とジェンダー秩序 国家と宗教、SNS公共圏」(pp. 308-325) 『宗教と風紀』	
1. 著者名 Masako Ishii, Naomi Hosoda, Masaki Matsuo and Koji Horinuki eds., Tsujigami, Namie, et.al.	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Brill	5. 総ページ数 299
3. 書名 "Asian Migrant Workers in the Arab Gulf States" Gender and 'Tradition': Power Negotiation between Employers and Domestic Workers in Saudi Arabia (pp. 83-102)	

1. 著者名 Sahar Khamis, Amel Mili, eds, Sahar Khamis, Amel Mili, Nada Alwadi, Rita Stephen, Deborah Harrold, Asma Nouira, Nahed Eltantawy, Namie Tsujigami, et.al.	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Palgrave	5. 総ページ数 252
3. 書名 Arab Women's Activism and Socio-Political Transformation: Unfinished Gendered Revolutions	

1. 著者名 Sahar Khamis, Amel Mili (eds)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Palgrave Macmillan	5. 総ページ数 258
3. 書名 Arab Women's Activism and Socio-Political Transformation	

〔産業財産権〕

〔その他〕

上智大学総合グローバル学部 https://dept.sophia.ac.jp/fgs/staff/tsujigami-namie 上智大学アジア文化研究所 https://dept.sophia.ac.jp/is/iac/staff/staff_tsujigami.html https://dept.sophia.ac.jp/fgs/staff/tsujigami-namie 上智大学総合グローバル学部 http://rscdb.cc.sophia.ac.jp/Profiles/17/0001696/profile.html
--

6. 研究組織		
氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計1件

国際研究集会 Seminar by Laila Makboul on "Intellectual female preachers in the Saudi public sphere"	開催年 2018年～2018年
--	--------------------

8 . 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------